

金沢市の北に位置する石川県内灘町。西側に日本海を擁する特長を生かして「内灘海岸を石川の湘南に」を目標に、にぎわいづくりを目指す。川口克則町長に狙いや取り組みを聞いた。

自治体

トップに

聞く

——「石川の湘南」、どんなイメージですか。

「町民にアンケートしたところ、町の一番の魅力は『海』だった。神奈川県湘南海岸沿いには江ノ電（江ノ島電鉄線）が走って

内灘町長（石川県）

川口克則氏



かわぐち・かつのり
1954年（昭29年）内灘町生まれ。78年愛知工業大経営工学科卒、内灘町役場入庁。町民生活課長、町民福祉部長を経て2012年退職。13年1月の町長選で初当選。「今は無趣味」だという。60歳。

「石川の湘南」にぎわい作る

海沿いに道スポーツ振興

いるが、内灘には浅電（北陸鉄道浅野川線）がある。内灘にもサーフィンなどマリンスポーツを楽しむ住民が多く、共通する面が多い

——具体的な計画は。備。乳製品やラッキョウな

「金沢市との境界に近い場所から、海岸沿いに延長4キロほどの道路を整備したい。起点となる場所には橋は金沢駅周辺のビルなど高い場所や兼六園から内灘までは浅電で17分

「3月には北陸新幹線が金沢まで開業します。他府県からの移動時間が大幅に短くなる。金沢から内灘までは浅電で17分

「金沢支局長 高木晋」
——随時掲載

ど特産品を置けるようなスペースの設置も検討する」
——湘南はペットと一緒に入れるカフェがあるなど、共生が進んでいます。
「最近、各地の道の駅でドッグランが整備され人氣が高いうえだ。内灘にも必要かなと思っている」
「町のもう一つの魅力はサンセットブリッジ（内灘高校大会で星稜高校が優勝してサッカー熱がさらに高まっており、この場所でのぎわいを創出したい」
「海以外の取り組みも必要になります」
「サンセットブリッジたもとの総合公園に、人工芝のサッカー場を整備している。15年度は屋内型フットサル場を作る計画だ。全国高校大会で星稜高校が優勝してサッカー熱がさらに高まっており、この場所でのぎわいを創出したい」
「同じ金沢市のベッドタウンである野々市市などと異なり大型商業施設がありません。定住人口をどう増やしますか」
「町の北部にとりまして、道のインターチェンジ（IC）を整備する計画だ。内灘ICにはない金沢方面からの出口と同方面への入り口を設ける。金沢から来て内灘で下りられるようになる。ニュータウンにも近く、大型スーパー誘致という目標実現にも弾みが付く」